

科目名	電子回路 I Electronic Circuits I			担当教員	正本 利行		
学年	3年	学期	通年	履修条件	必修	単位数	2
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	16235011	単位区別	履修
学習目標	エレクトロニクスの基礎となるダイオードやトランジスタといった電子回路素子の構造及び動作特性を理解させる。また、これらの素子を利用した簡単な整流回路や増幅回路の動作・特性およびトランジスタの等価回路について理解を深め、電子回路の計算を行える基礎能力を育成する。						
進め方	教科書に沿った講義を行う。基本理論および基本的な例題は講義で解説する。練習問題、演習問題については、演習、小テストの形で実施し、理解を深める。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. ガイダンス、半導体材料(2) 2. いろいろな半導体(2) 3. ダイオードの構造と働き(2) 4. ダイオードの特性(2) 5. 簡単なダイオードの回路(2) 6. 整流回路(2) 7. 復習(2) [前期中間試験](2)			ダイオードの構造・性質・特性を理解し、特性図を利用した計算が行える。 D2:1-3			
	8. 答案返却・解答(1) 9. トランジスタの構造と働き(2) 10. hパラメータ(2) 11. 簡単なトランジスタ回路(2) 12. 電界効果トランジスタ(2) 13. MOS形FET(2) 14. 簡単なFET回路(2) 15. 復習(2) 前期末試験			トランジスタの構造・性質・特性を理解し、特性図を利用した計算が行える。 D2:1,2 FETの内部構造・動作原理を理解し、基本的な計算ができる。 D2:1,2			
	16. 答案返却・解答(1) 17. 増幅のしくみ(2) 18. バイアス回路と入出力回路(2) 19. バイアスの求め方(2) 20. 特性図を用いた増幅度の求め方(2) 21. トランジスタの等価回路(2) 22. 増幅回路の入出力インピーダンス(2) 23. 復習(2) [後期中間試験](2)			増幅回路の基本的な仕組みを理解する。 D2:1 増幅回路のバイアスを求める。 D2:1-3 増幅度をトランジスタの特性図および等価回路を利用して求める。 D2:1-3			
	24. 答案返却・解答(1) 25. バイアス回路(2) 26. バイアス回路(2) 27. 増幅度のdB表示(2) 28. 周波数による増幅度の変化(2) 29. 周波数による増幅度の変化(2) 30. エミッタホロワ増幅回路(2) 31. 復習(2) 後期末試験			増幅回路の特性変化の原因および変化について理解する。 D2:1,2			
	32. 答案返却・解答(1)						
	評価方法			試験 80%, 小テスト 20%で評価する。			
	履修要件						
	関連科目			電気回路 I (2年) → 電子回路 I (3年) → 電子回路 II (4年)			
	教材			教科書：篠田庄司監修・和泉勲編著「わかりやすい電子回路」コロナ社			
備考			オフィスアワー：毎週火曜日 16:00～17:00				